

献血アプリ



活用すればスムーズ献血

日本赤十字社が献血アプリ「ラブラッド」を作成しました。献血の予約や問診への事前回答ができるため、当日は時間も短縮され、スムーズに献血ができます。

うれしい特典もあり！

- 献血のたびにポイントGET
→日用品や限定グッズと交換
- 血液の検査結果が翌日に確認可能
- 会員限定の案内あり



鳥取県若年層向け献血啓発広報誌

あとり

A T O R I



学祭で献血ができちゃいます！

10月13日(日) 11時~16時
鳥取大学“風紋祭”

受付場所：正門前広場付近

10月26日(土) 11時~16時
公立鳥取環境大学“環謝祭”

受付場所：クラブハウス近く

11月2日(土) 11時~16時
鳥取大学医学部“錦祭”

受付場所：記念講堂1F

学祭以外でも献血バスがやってきました！

11月13日(水) 12時30分~17時
鳥取看護大学・鳥取短期大学

受付場所：交流センター3F 大会議室

編集後記

ここまで読んでくださりありがとうございました。「あとり」は今回が初めての刊行です。大学生の私たちが同じ若者のみんなに伝えたいことを、ギュッと詰め込みました！この広報誌を通して献血に興味を持ってくれる人が増えてくれたら嬉しいです。

あとりって何？

この広報誌のタイトル「あとり」は、“アトリ”科に属するフィンチという鳥に由来しています。昆虫や種子を食べるフィンチの中には、鳥の中では珍しく血を吸うことで生きているフィンチがいるんです！このあとりを通じて、年2回、献血の大切さを感じてもらったり、献血してみようかなと思ってもらえるような情報を県・血液センター・大学献血推進サークルと一緒に発信していきたいと思えます！



発行

鳥取県献血推進サークル
「白うさぎ」「コハクチョウ」「鷺鷥」
鳥取県赤十字血液センター



白うさぎ



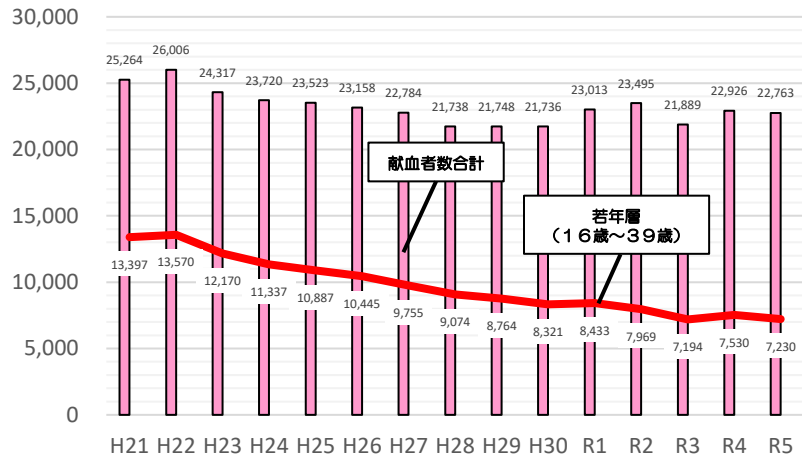
コハクチョウ



鷺鷥 (おしどり)

求む！Your Blood

(単位：人)



【出典：鳥取県】

若年層の献血者数が激減



献血ルームひえづ

現在日本では高齢化が進み、献血を受ける人は増加している中、全国的に若年層の献血者数は減少しており、県内でも同様の状況です（上記グラフ参照）。献血は病気（がんや白血病など）やけがで血液を必要とする方々のために血液を無償で提供するボランティア。

いま、あなたの協力が必要です。

献血の流れ

①受付

献血で提供いただく血液の利用についての同意と自身の健康状態に関する質問にタブレット端末で回答します。

②問診

受付で回答した内容に関する確認と血圧測定を医師が行い、献血ができるかの確認を行います。

③事前検査

微量の血液を採取し、献血に適した血液かを確認します。（ヘモグロビンor血液の濃さを調べます）

④採血

採血ベッドに横になり、採血を行います。採血時間は全血献血で10分～15分、成分献血で60分程度です。

⑤休憩

待合室に戻り、ゆっくり休憩しましょう。

⑥献血アプリの更新・献血カードの受け取り

献血を経験した人からあなたへ

- ♥ 思ったより時間がかからず、人助けができて胸がスッとしました。（20代学生）
- ♥ 採血をしてくださる方々がとても親切で、お話をしながら安心して採血を受けられました！（10代学生）
- ♥ 献血ルームの温かい雰囲気が好きです。高校生の時は模試の自己採点に、大学生になった今ではカフェのように利用しています。（20代学生）



▲まずは受付で説明などを受けます！



▲受付を終えたら問診と事前の検査！



▲採血中！全然痛くなさそうですね！



▲採血が終わったらゆっくり休憩～。
お菓子・ジュースや人気漫画もゆっくり読めちゃいます！